

工場火災発生！

工場の火災予防対策を徹底しましょう

令和4年12月に都内の工場で火災が発生し、周囲の建物を含む約1,900 m²等が焼損し、負傷者1名が発生しました。

本火災の出火原因は調査中ですが、溶接・溶断等の火花を発生する作業や、危険物等（危険物、火薬、可燃性ガス）の取扱いを行う場合は、火災が発生した際に多数の死傷者の発生や、建築物損壊等の甚大な被害につながる可能性があります。

甚大な被害を発生させないために、日頃から、裏面に記載の火災予防対策を徹底しましょう。



東京消防庁

Tokyo Fire Department

本郷消防署予防課査察係

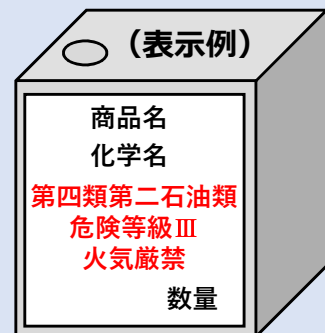
文京区本郷7-1-11

電話 03-3815-0119

◆ 工場の火災予防対策 Point ◆

Point 1 危険物等の取扱い

◆ 取り扱う（貯蔵する）危険物の総量を把握する。



※ 消防法上危険物に該当する物品の容器には、危険物の品名、化学名、危険等級、数量、注意事項等が記載されています。（内容積が500ml以下の容器は、一部表示が簡略化されている場合があります。）

使用している物品が消防法上の危険物に該当する場合、**取り扱う数量によっては、消防署への許可申請や届出が必要になります。**

- ◆ 危険物の性状に応じた正しい取扱いを行う。
- ◆ 危険物の周囲は整理整頓し、不要な物は置かない。
- ◆ 危険物の周囲で、火気を取扱わない。
- ◆ 危険物や高圧ボンベ等は、地震等により転倒・落下しないよう措置を講じる。

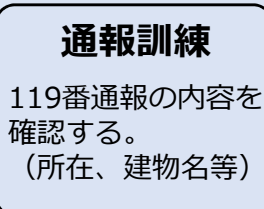
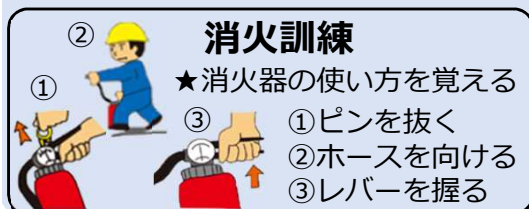


Point 2 火気器具・電気器具

- ◆ 火気器具（設備）は使用する前後に点検を行い、適正な取扱いを行う。
- ◆ 火花を発生する作業を行うときは、周囲の可燃物を除去する。
- ◆ 電気器具（設備）は、許容電流を守る。
- ◆ コンセント周りや配線の点検を、定期的に行う。

Point 3 自衛消防訓練

◆ 自衛消防訓練を実施する。



PC・スマホでできる「ネット自衛消防訓練」も活用してください。

ネットで自衛消防訓練 検索



高性能型消火器の追加設置も検討してください。

「高性能型消火器」とは、誰もがより消火しやすいことを目的に、消火能力を著しく向上させた消火器です。



【高性能型消火器について】



【支援事業について】



(一社) 日本消火器工業会HP (公財) 東京都中小企業振興公社HP

公益財団法人東京都中小企業振興公社では中小企業に対し、高性能型消火器の追加設置に関する導入費用の一部を助成しています。詳しくは、公益財団法人東京都中小企業振興公社のホームページをご覧ください。